

第28回宗教文化士認定試験 記述式試験問題

問 宗教や宗教文化についての情報や見解、とくにSNS上で広がっているものには、基本的にきわめて不適切あるいは間違ったものが少なくない。次のA～Eはその例である。このうちから2つを選んで、どのような点で適切でないのか、あるいは間違っているのかを指摘し、どのように記述したら適切になるかについて述べなさい。一般的抽象的な言い方ではなく、具体的な例をあげながら、全体で800字以上1,000字程度で自分の考えをまとめなさい。

各解答文の最初に、必ず選んだ意見の記号を書くこと。また2つの解答の字数の割合には多少偏りがあってもかまわない。

*下書きにWORDなど文書作成ソフトを用いて、字数のカウントや一時保存に用いてもかまわない。

事柄

A 「一神教の中でもとくにユダヤ教、イスラム教には日常生活に厳しい戒律があるが、日本に住むのなら、戒律よりも日本の習慣に従うべきだ。」

B 「外国人人は日本の宗教や宗教文化などには関心を抱かないで、国外に留学したり、働くようになった場合でも、日本の宗教や宗教文化についての知識がほとんどなくても構わない。」

C 「カルト問題を起こすのは、ほとんどが外国からやってきた新しい宗教なので、これから新たに日本で活動する外国の宗教に対しては法的な規制が必要だ。」

D 「日本ではイスラム教徒が増え人口に占める割合が数%に達している。モスクが増えるとテロリストたちが集まりやすいので、注意しなくてはいけない。」

E 「日本のアニメや漫画は国外で大変人気があるが、娯楽作品の場合は宗教的場面が含まれるときも戒律など気にしないで、面白さだけを追求すると自然と人気が出るものだ。」